

永田クラブ
経済研究会
消費者問題研究会
厚生労働省記者クラブ
農林水産省記者クラブへ貼り出し

公開

平成25年10月24日
内閣府食品安全委員会事務局

食品安全委員会セミナー 「ヒ素に関する最新知見について」 の開催のお知らせと参加者募集について

食品安全委員会は、下記の要領で、食品安全委員会セミナー「ヒ素に関する最新知見について」を開催します。同時に参加者の募集を開始しますので、お知らせいたします。

記

ヒ素には有機ヒ素と無機ヒ素があり、有機ヒ素は海産物や農産物に含まれていることが知られております。この有機ヒ素、無機ヒ素に関する最新知見について、国内外から専門家をお招きし、この分野の国際的な動向について情報提供いただきます。また、食品安全委員会が行った「食品中のヒ素に係る食品健康影響評価（案）」の内容につきましても紹介いたします（同時通訳付き）。

なお、本セミナーにはどなたでも参加できますが、講演に専門的な内容が含まれていますので、食品衛生に関する一定の知識をお持ちの方を主な対象者と考えております。

1. 開催日時： 平成25年11月22日（金） 13：00－16：30
（12：30 受付開始）
2. 会 場： 食品安全委員会 会議室
（東京都港区赤坂5-2-20 赤坂パークビル22階）
別紙1 地図参照
3. 主 催： 食品安全委員会
4. 募集人数： 約100名

5. 参加料： 無料

6. プログラム（予定） 別紙2 議事次第参照

7. 参加者の募集（報道関係者は「8. 報道関係者の皆様へ」を御覧ください。）
食品安全委員会ホームページ（<http://www.fsc.go.jp/>）において
10月24日（木）17：00から受付を開始します。
参加を御希望の方は、別紙3の参加申込書の各項目を御記入の上、
FAX又はインターネットでお申し込みください。

希望者が多い場合は、先着順で締め切らせていただく場合がありますので御了承ください。

申込締切： 平成25年11月15日（金） 17：00

申込先：

FAXでの御応募 03-5362-0121

インターネットでの御応募

（<https://www.omc.co.jp/fsc2013/>）

- ・ 参加の可否は、「参加証」のFAX又は電子メール送信により、御連絡いたします。
- ・ 参加証は、本セミナー当日に、会場受付で御提示ください。
（なお、参加証をお忘れになった場合等は、身分を証明するもの（運転免許証、健康保険証、社員証など）を御提示いただきますので、御注意ください。）
- ・ 参加申込の際にご記入いただく項目については、当方から必要に応じて御連絡させていただく場合があるほか、会場での参加確認や、どのような立場の方々が御参加されているのかの把握のために、お尋ねしております。
- ・ 本セミナーはマスコミにすべて公開いたします。発言者・参加者の写真又は映像等が配信・報道される可能性がありますことをあらかじめ御了承ください。

8. 報道関係者の皆様へ

- ・ 本セミナーは公開といたします（カメラ撮り可）。
- ・ 参加を希望される場合は、平成25年11月15日（金）17：00までに、「食品安全委員会セミナー参加希望」を明記し、下記項目を御記入の上、「7. 参加者の募集」に記載されている申込先まで御連絡ください。（様式は自由）
 1. 会社名
 2. 氏名
 3. TVカメラの有無
 4. 電話番号
 5. FAX番号
 6. 住所
 7. 参加人数
- ・ 本セミナーは同時通訳で行います。会場にて受信機器をお貸しいたします。
- ・ 本セミナーは公開で行われます。つきましては、発言者・参加者の写真又は映像等が配信・報道される可能性がありますことをあらかじめ御了承ください。

【本件に関する問い合わせ先】

食品安全委員会事務局情報・勧告広報課

TEL 03-6234-1191、1146

(受付時間10:00~17:00 土日・祝日除く) (担当: 間渕、栴本)

【本件に関する問い合わせ先】

「内閣府食品安全委員会食品安全セミナー」事務局

TEL 03-5362-0120 (受付時間10:00~17:00 土日・祝日除く)

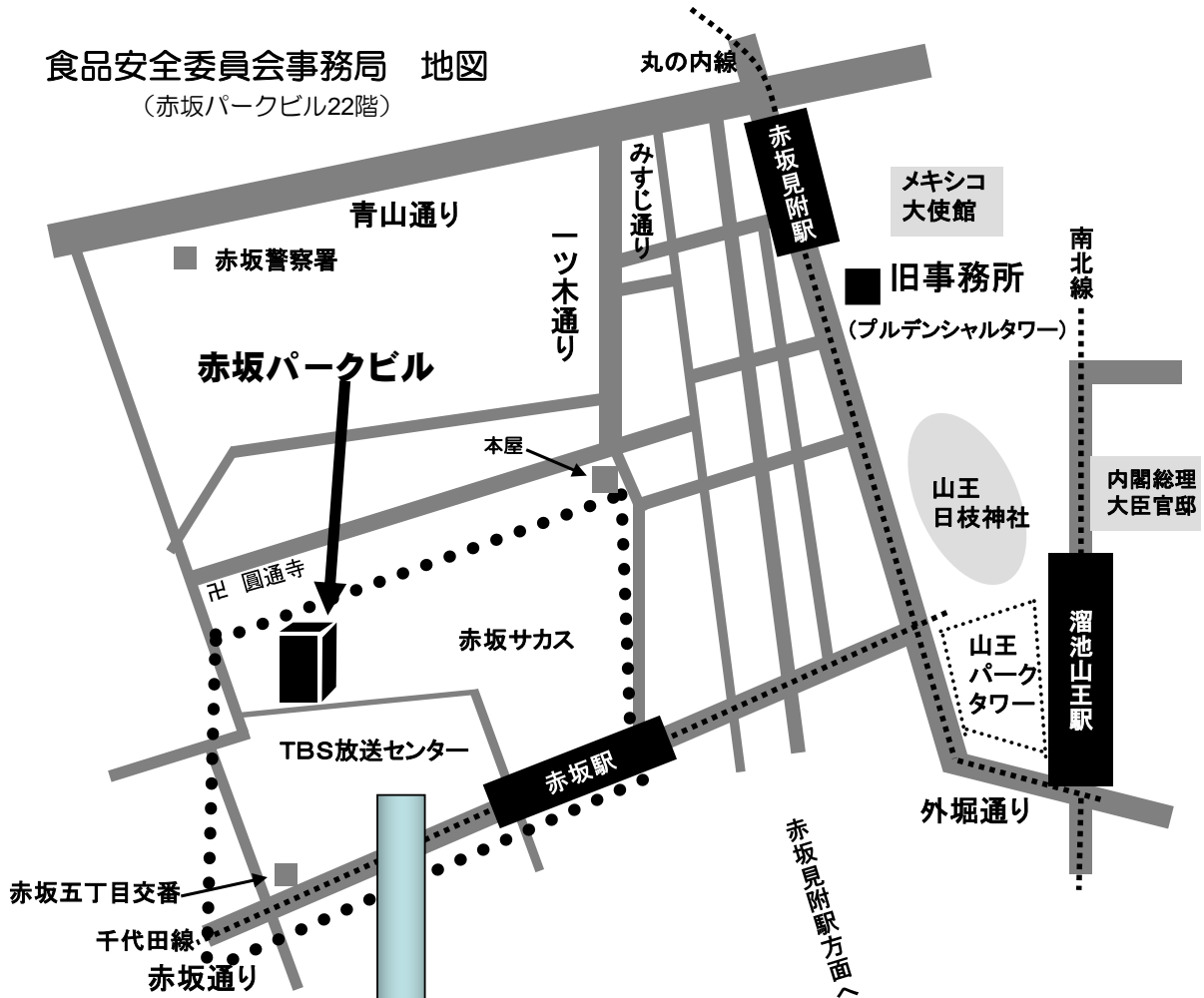
(業務管理委託先: 株式会社OMC 担当者: 沢井、林)

食品安全委員会について (<http://www.fsc.go.jp/>)

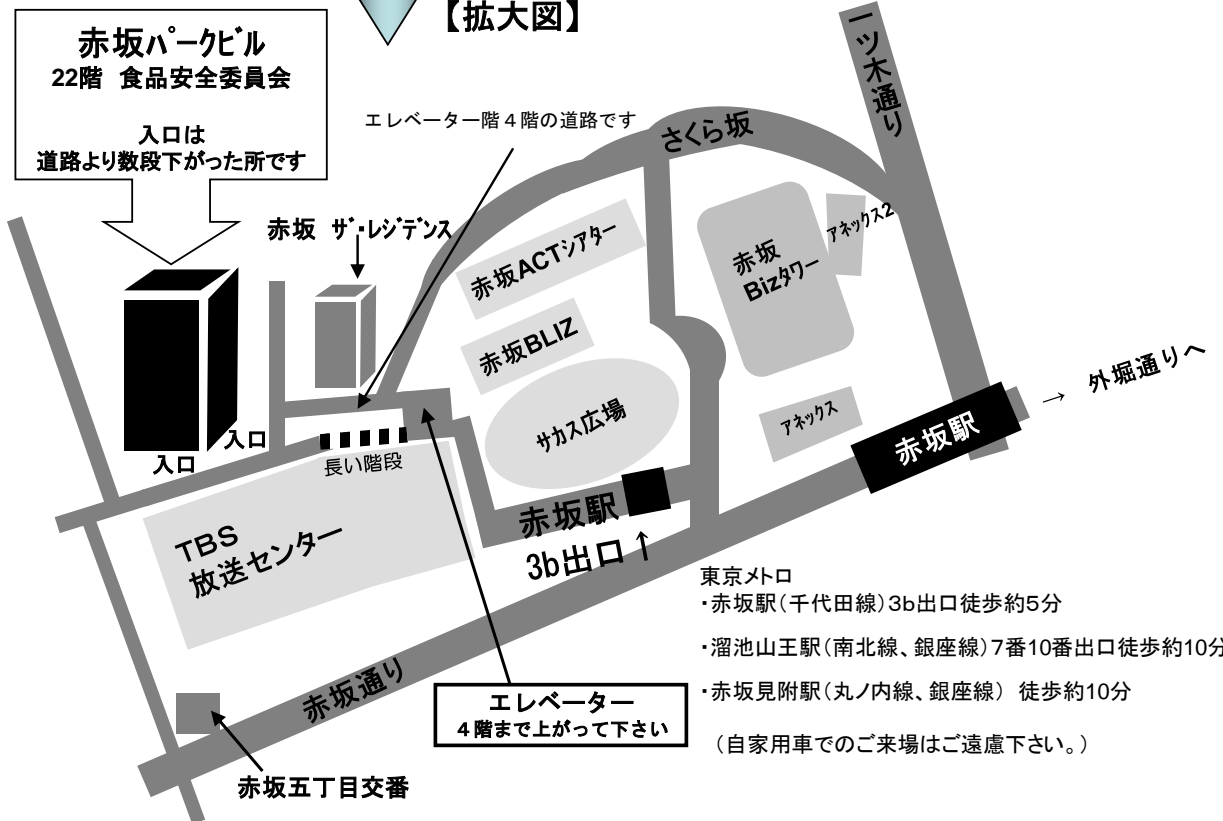
食品安全委員会(委員長: 熊谷進(くまがい・すすむ))は、食品中に含まれる農薬や食品添加物などが健康に及ぼす影響を科学的に評価する機関(リスク評価機関)。7名の委員で構成され、12の専門調査会において、200名を超える専門委員の協力により、企画等、添加物、農薬、動物用医薬品、器具・容器包装、化学物質・汚染物質、微生物・ウイルス、プリオン、かび毒・自然毒等、遺伝子組換え食品等、新開発食品、肥料・飼料等の分野のリスク評価等を行っています。

食品安全委員会事務局 地図

(赤坂パークビル22階)



【拡大図】



- 東京メトロ
- ・赤坂駅(千代田線)3b出口徒歩約5分
 - ・溜池山王駅(南北線、銀座線)7番10番出口徒歩約10分
 - ・赤坂見附駅(丸の内線、銀座線)徒歩約10分
- (自家用車でのご来場はご遠慮下さい。)

エレベーター
4階まで上がって下さい

食品安全委員会セミナー
「ヒ素に関する最新知見について」
(平成25年11月22日(金)開催)
(13:00~16:30)

議 事 次 第

1. 日 時：平成25年11月22日(金) 13:00~16:30
2. 場 所：食品安全委員会 会議室
(東京都港区赤坂5-2-20 赤坂パルコビル22階)
3. 主 催：食品安全委員会
4. 議 事
 - 1 開会
司会 野口 武人
食品安全委員会事務局情報・勧告広報課リスクコミュニケーション官
 - 2 開会挨拶 三森 国敏 食品安全委員会委員長代理
 - 3 セミナー
コーディネーター 佐藤 洋 食品安全委員会委員長代理
 - 講演1 有機ヒ素に関する最新知見について(仮)
オーストリア グラーツ大学：Dr. Kevin Francesconi
(ケビン・フランチェスコニ教授)
 - 講演2 海産物におけるヒ素に関する知見について(仮)
水産大学校水産学研究科：花岡 研一教授
 - 講演3 食品中の無機ヒ素の健康影響について(仮)
～食品中のヒ素に係る食品健康影響評価(案)～
化学物質・汚染物質専門調査会座長：圓藤 吟史専門委員
- 4 閉会

参加申込書

食品安全委員会セミナー
「ヒ素に関する最新知見について」
(平成25年11月22日(金)開催)

フリガナ 氏名	参加証送付先FAX番号 またはEメールアドレス	TEL番号 (市外局番から記入) 性別・年齢	フリガナ 勤務先 所属団体等
	FAX	TEL	
	Eメールアドレス	性別 年齢 男・女 歳	
	FAX	TEL	
	Eメールアドレス	性別 年齢 男・女 歳	
	FAX	TEL	
	Eメールアドレス	性別 年齢 男・女 歳	

該当する番号にひとつだけ○を付けてください。

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1) 消費者団体 | 2) 食品関連事業者(加工、流通、販売など) |
| 3) 農林漁業従事者(生産者) | 4) 研究・教育機関(教員、研究者など) |
| 5) マスコミ関係者 | 6) 行政関係者 |
| 7) その他(具体的に御記入ください:) | |

申込締切：平成25年11月15日(金) 17:00

FAX送信先： 03-5362-0121

食品安全委員会セミナー事務局

(業務管理委託先：株式会社OMC 責任者：沢井、林)

(参考資料)

《講演者プロフィール》



ケビン・フランチェスコニ博士

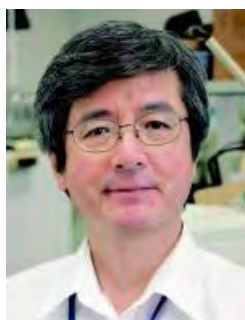
(Dr Kevin Francesconi)

略歴

ケビン・フランチェスコニ博士は、1974年に豪州カーティン工科大学を卒業後、西オーストラリア大学で博士号を取得された。

1976年から、西オーストラリア海洋研究所 (Western Australian Marine Research Laboratories) で、分析化学、次いで環境化学の研究者として勤務された後、1996年から2001年までは、デンマーク・南デンマーク大学で准教授を務められた。その後、2001年からは、オーストリア・グラーツ大学で勤務されており、2002年に現職 (分析化学担当教授) に就任された。

同博士の研究は、環境及び人を含む生体における金属の生体内変化の基本的なプロセスを研究することを目的とした、化学的かつ分析学的方法の開発及び応用を主に対象としている。特に天然物に存在するヒ素化合物に関する世界的権威であり、これまでも極めて優れた種々の業績をあげてこられている。



花岡 研一 教授
(はなおか けんいち)

略歴

花岡教授は、1974年に鹿児島大学水産学部を卒業後、九州大学農学部で博士号を取得された。1982年から水産大学校に勤務され、食品化学分野の研究をされている。

教授は、生物元素の機能性及び安全性がご専門で、水産食品中の安全なヒ素化合物と機能性、ヒ素化合物が無毒化されるメカニズム、食品中のヒ素化合物の正確な抽出と測定等の研究を行われており、多くの優れた業績をあげてこられている。



圓藤 吟史 教授
(えんどう ぎんじ)

略歴

圓藤教授は、1981年に名古屋市立大学医学部を卒業後、大阪市立大学で医学博士号を取得された。1983年から大阪市立大学医学部で衛生学、環境衛生学、産業医学分野にて勤務されている。

教授は、海産食品に含まれるヒ素化合物の検出、職業由来による疾病、特に有害物質による中毒の予防に関する研究を行われており、産業保健中毒学、産業疾学、環境医学の分野の研究に取り組みされており、数々の優れた業績をあげてこられている。また、2004年より食品安全委員会の専門委員としてご尽力をいただいている。